

1 久留米市における障害者差別に関する認知状況

	市民意識調査 H29 年度	くるモニ H30 年度	くるモニ R1.12 月 公表予定
1. 差別解消法について知っているか			
内容まで知っている	7.6%	11.1%	10.0%
言葉は聞いたことはある	25.0%	28.8%	30.9%
知らない	66.0%	60.1%	59.1%
2. 差別解消法施行前と比べて、障害のある人に対する差別は改善されたと思うか			
改善されていると思う	—	8.5%	16.0%
改善されていないと思う	—	36.6%	32.2%
どちらともいえない	—	54.9%	51.8%
3. 合理的配慮をしないことが「障害を理由とする差別」に当たることを知っているか			
知っていた	—	39.9%	37.9%
知らない	—	60.1%	62.1%

- ※1 久留米市市民意識調査：サンプル数 2,000 市内在住満 18 歳以上の人
くるモニ（市民アンケート調査）：サンプル数 300 市内在住満 18 歳以上の人
- ※2 差別解消法の認知は、「内容まで知っている人」は 1 割。「差別解消法のことを知らない人」が約 6 割いる。
- ※3 差別解消法施行後も、「差別が改善されていないと思う人」が約 3 割いる。
- ※4 合理的配慮をしないことが「障害を理由とする差別」に当たることを知らない人が約 6 割いる。